

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	HI	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学 年	3 年	派遣国	カナダ
派遣大学	メモリアル大学		
期 間	2024 年 8 月 31 日～2025 年 4 月 29 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○ Grenfell campus/ St. John's campus					
	トイレ	○/◎	シャワー	○/◎	洗面所	○/◎
	キッチン	◎/◎	冷暖房	○/○	冷蔵庫	○/◎
滞在費	約 (5 万) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (1 分/10) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	20,000 円/75,625 円	自炊のための野菜や肉など/meal plan1 日 3 食
学用品購入費	学期はじめのみ 2 万円	教科書、授業で使う本
交通費	3000 円	近くのショッピングセンターに行くためのバス、タクシー代
交際費	2～3 万円	レストランでの食事代、映画のチケット、バーなどのエントランス料金
その他	5 万円	寮費

合計

10 万円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

コーナブルックはとても小さな町なので、誰かが何か悪いことをするとすぐにうわさが広まるし、異変に気付かれるので犯罪が起きにくいのだと地元のタクシー運転手の人が言っていました。実際、夜中にダウントウンに行かない限りは安心して生活できるとおもいます。どちらのキャンパスも 24 時間、警備員によって警備されていますが、Grenfell campus のほうが寮の中までしっかり警備されていました。

セントジョンズはとても大きな町で、朝昼関わらず、単独行動はあまりしない様に言われていました。実際に事件に巻き込まれることはありませんでしたが、いろんなところで大麻のおいがしていました。夜のダウントウンは危ないので、絶対に女の子だけ、少人数ではいけない様にしていました。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(8) ヶ月間	保険料	(約 10 万) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	学校の保険 (Guard me)		
加入期間	(8) ヶ月間	保険料	(52000) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**コーナブルック→セントジョンズ**)

どちらの町もカナダの東部に位置する、ニューファンドランド・アンド・ラブラドル州にあります。コーナブルックの人口は 2 万人ほどで、とても小さな町です。プラザという小さなショッピングモールが一つ町の中にあります。コーナブルックのほとんどの場所を走っている市営のバスがあり、3.5 ドルで乗ることができます。学内の本屋で回数券を買うことも可能です。そのほかにもマーフィースクエアというところにウォルマートやドミニオンといったスーパーマーケットや文房具屋があります。

セントジョンズはニューファンドランド島の中で一番大きな町です。ジェリービーンズストリートという、カラフルな家が立ち並ぶエリアが有名です。2 ドルで乗れるバスがあり、このバスでセントジョンズ内のほとんどの場所に行くことができます。アバロンモールというとても大きなショッピングモールがあります。

【学業編】

1. 大学情報

大学	メモリアル大学	所在地	セントジョンズ、コーナールック
最寄空港	ディアレイク空港/セントジョンズ空港	空港からの距離	1 時間ほど/20 分
空港⇄大学	(タクシーかシャトルバス/バス) *移動手段		
学生数	1 3 0 0 / 1 4 7 7 0	留学生数	2 0 0 / 3 4 0 0
学部	• Faculty of Business Administration • Faculty of Education • Faculty of Engineering and Applied Science • Faculty of Humanities and Social Sciences • Faculty of Medicine • Faculty of Nursing • Faculty of Science • School of Music • School of Pharmacy • School of Human Kinetics and Recreation • School of Social Work • School of Arctic and Subarctic Studies • School of Graduate Studies • Fisheries and Marine Institute		

	*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。
学部/専攻	• Faculty of Humanities and Social Sciences *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Listening and speaking Culture and community	Listening and speaking Literature	Grammar Reading	Reading and writing Culture and community Grammar	Listening and speaking
午後	Psychology	Grammar Discussion Reading and writing	psychology	Language lab Tutorial	Literature Reading and writing

② (1)月～(4)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Folklore	English	Folklore	English	
午後	French		French		French

3. 履修内容

科目	Psychology 1000		
履修期間	2024/8-2024/12	単位数	3 単位
授業内容／形態	心理学の基礎を学びます。社会心理学や心理的障害、心の発達などについて学びます。		
成績	C		
YCU 振替予定	科目	心理学入門 a	
	単位数	2	
	担当教員	江上 園子	

科目	Folklore1000		
履修期間	2025/1-2025/4	単位数	3
授業内容／形態	Folklore の基礎を学びます。伝統が私たちの生活やコミュニケーション、芸術にどのような影響を及ぼしているのかを学んだり、研究方法について学びました。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 A）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	French 1500		
履修期間	2025/1-2025/4	単位数	3
授業内容／形態	フランス語の初学者向けに、フランス語の基礎を学びました。時刻や天候、今の気分、未来形が使えるようになりました。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	フランス語教養基礎 a	
	単位数	すでに横浜市立大学で履修済みのため、申請はしない予定	
	担当教員		

科目	English 1090		
履修期間	2025/1-2025/4	単位数	3
授業内容／形態	物語の構造や言語の使い方を理解することを目的としています。主な内容としては、テキストの分析、エッセイの構成、段落の組織、研究手法、引用と文献の記載などが含まれます。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 B）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

まず、学部授業とトロントへの旅行を通して、いい点も問題点も含めた「カナダらしさ」を肌で感じました。特にカナダが多民族国家であることとカナダの美しい自然は「カナダらしさ」に大きな影響を与えていると思います。特に「カナダらしさ」の一つとして、英語の発音よりも、どれだけ人と良いユニケーションが取れるかのほうがはるかに重視されていることを感じました。出国する前から、カナダ是多民族国家であると知っていましたが、実際に行ってみると、私の想像以上に様々な人種の人がありました。そして、それぞれ異なるアクセントやイントネーションを持っていました。もちろん、相手に伝わる英語であることが大前提ですが、その発音で、相手とコミュニケーションが取れるのであれば、英語の教材で使われるような、いわゆるネイティブの発音に近づけなくとも会話を楽しめることを、実際に自分の目で見て気づきました。そして、発音がコミュニケーションに関係がないのであれば、それ以外の要素、例えば表情や雰囲気、ユーモアなどのほうが何倍も大事なのだと痛感しました。

英語がどれほどネイティブらしく話せるかよりもそれ以外の要素がコミュニケーションにとって大事だったからこそ、英語があまり得意でない私でも友人、親友をつくることができたのだと思います。最初の頃は自分の英語力の低さばかり気にしてあまり積極的に話せていませんでしたが、どんなに下手な英語でも気にせずに、とにかく話したい事や言いたいことを口に出してみるようになってから、周りとの距離が大幅に縮まりました。今では、相談事や嫌なことがあると、まずは彼らに相談するようになりました。寮での生活は自分の時間もとれていましたが、授業後のほとんどの時間を友人の chalet (4 人で生活するシェアハウスタイプの寮) で過ごしていたので、自分の弱い部分や面倒くさい部分も自然とさらけ出すようになり、彼らはありのままの自分を理解してくれているように感じるからです。

心残りもありますが、精いっぱい、自分なりに 8 か月間頑張れたと自信を持って言えます。本当に留学を決めてよかったです。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

これらの経験を通して、英語学習への取り組み方が大きく変わりました。私は今回の留学を ESL からスタートしていて、英語はあまり得意ではありません。日本には私よりも TOEIC や IELTS のスコアが高い人、幼少期を海外で過ごした人などが多くいて、たとえ 8 か月間カナダで過ごしていても、これから就職活動、社会で彼らとライバルになったら英語力だけでは勝てないと思います。でも、英語が苦手だったからこそ気づくことができた、英語力以外の部分の大切さを忘れず、自分らしい英語のコミュニケーション方法を模索していきたいです。

留学前は教育に関する職に就きたいと考えていて、そのためにカナダの教育制度、文化を学ぶ必要があると考えていました。そこで、教育学部があるカナダのメモリアル大学に留学することを決めたのですが、大学側の勘違いで教育学部の授業を受けられなくなってしまいました。そのため、留学前に考えていた将来の計画が崩れてしまい、今は別の大学に転入すべきか、卒業後にカナダの大学に入りなおすか、夢をあきらめて別の道に進むべきか迷っています。留学中はあまりこのことについて考えない様にしていたので、今後どうするべきかは自分の中でもはっきりしませんが、学校が始まるまでの時間でゆっくり考えていきたいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

まず、体調が悪くなってしまった時ですが、基本的にはメモリアル大学の guard. Me という保険に全員入るので、保険料の心配をする必要は全くありません。薬代も保険で賄われます。領収書を使って難しい鉄好きをする必要もなく、病院で聞かれたときに保険番号を伝えればいだけなので異変を感じたらすぐに病院に行くべきだと思います。横浜市立大学で加入するように言われた保険会社の健康相談窓口で相談した際、コーナブルックの病院は情報がないと言われたので、一番はメモリアル大学の international office か ESL 生なら ESL の先生に相談するといったと思います。コーナブルックには病院が 1 つしかないのも、4 時間から 6 時間、場合によっては 8 時間ほど待たされます。軽食や飲み物をもっていきましょう。もし英語力に自信がないときはオンラインドクターを使うのも 1 つの手だと思います。

英語力に自信がないときは思い切って ESL から始めるブリッジプログラムがベストだと思います。Grenfell campus には ESL 生が毎学期訪れていて生徒も学校側も ESL 生に慣れているので、つたない英語にも寛容な雰囲気があると思います。また、小さい学校だからこそ顔見知りもたくさんできるし、イベントに少し参加するだけで友達がたくさん増えると思います。友達が増えればその分英語を話す機会も増えて、英語の上達の近道になると思います。ただ、ESL は授業が朝から夕方まで入っているので、学部授業よりも忙しいし、大変だと思います。セントジョーンズは ESL 生がいなくて、英語が流ちょうに話せるのが当たり前で、雰囲気の中で生活することになります。人数が多いので顔見知りができてもなかなか学校で再会できなかったりして、コーナブルックと比べると友達ができにくい環境かもしれません。ただ、それを乗り越えた先にはいろんな文化を持った友人たちとの楽しい寮生活が待っています。

横浜市立大学にもメモリアル大学にも留学生へのサポート体制、機関があります。何か不安な事、わからないことがあれば頼るべきだと思いますが、完全に信頼、まかせっきりにするべきではないと思います。本当にお願ひしたことを進めてもらっているか、自分の意志が正しく伝わっているか、そして納得がいかないときには折れるのではなく、最後まで粘って、後悔のない留学にできるように頑張ってください。誰のせいにもできないからこそ、最後まで自分で責任をもって、細かく確認するべきだったし、納得がいかないなら行かないというべきだったと、とても後悔しています。